

2018年度 神奈川県ラグビー合宿 実施結果報告

神奈川県ラグビーフットボール協会
レフリー委員会タグレフリー部会
二ノ宮 一記

1. 実施概要

日 時: 平成30年8月25日(土)～26日(日)

場 所: 静岡県裾野市運動公園 (〒410-1104 静岡県裾野市今里1616-1)

講 師: 原 洋一(神奈川県ラグビーフットボール協会レフリー委員会委員)
二ノ宮 一記(神奈川県ラグビーフットボール協会レフリー委員会タグレフリー部会部会長)

受講者: 14名

2. 内容

- (1) 講義
 - 1) 他人紹介
 - 2) ラグビー憲章
 - 3) レフリーをする目的
 - 4) レフリーの持ち物
 - 5) ポジショニングとコース取り
 - 6) タグの反則(映像)
 - 7) 第14回SCについて
 - 8) 質疑応答
 - 9) 実技(反則の実践)
- (2) 過去の映像を見ながらのディスカッション
- (3) 実戦(交流会レフリー)

3. 合宿を終えての感想

タグレフリー合宿は2年ぶりの開催となったが、14名の参加者と一緒に2日間、タグラグビーについて真剣に向き合い、考え、議論する時間が持てたことはとても良い経験となった。

今回はまず、原講師がポストイットを使った講義からスタートしたが、これまでの様な押しつけ型の講義ではなく、参加者それぞれが持論を述べ、意見交換をするという参加型の講義がとても面白かった。

また、様々な反則シーンの映像を取り入れ、ペナルティーが起こる状況、オフサイドやオーバーステップの例を具体的に挙げて、説明を行なった。それぞれの参加者が過去に経験した事象に対し意見交換があったり、チャージの際にオフense/ディフェンスのどちらをペナライズすべきか、等についての議論もあった。

その後会場をグラウンドに移し、参加者全員でチャージの実演やオーバーステップ、オフサイドなどを実践しながら映像に収め、その後の講習会における映像資料として活用することとした。

夜は会場を時の栖に移し、食事の後に参加者全員で過去の大会等の映像を見ながら、ポジショニングや反則などについて議論し、翌日の実戦でのレフリーで活かせるように確認した。

翌日は裾野タグラグビー交流会におけるレフリーとして実戦を行なった。それぞれの参加者にコーチングレポートを配布し、各コート担当者からコーチングを受け、レポートの指摘内容を反省しながら次の試合に活かせるように努めていたのが印象的であった。残暑厳しい中での交流会だったが、一人の脱落者もなく、無事に合宿を終えた。

今回の合宿において感じたことは、いかに実戦に即した講習を行なうか、ということである。映像もそうだが、反則の起こりやすいシチュエーションや、判断に迷う場面などを実戦で具体的に取り上げ、その事象を分析し、それを次の試合で活かすことで、より良いレフリーにつながるものと感じた。

最後に、会場や宿舎のご調整を頂いた裾野市協会の所様及び神奈川県協会の染矢様、またご多忙の中にも関わらず、快く講師を引き受けて頂いた原講師に感謝を申し上げます。

